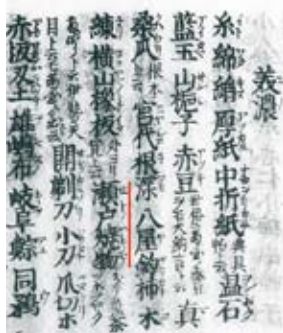


特別展 「瀬戸物として売られた美濃焼—江戸時代の焼物生産と販売—」

東日本では、陶磁器のことを「瀬戸物」と呼び、西日本では「唐津物」と呼びます。これは、現在の愛知県瀬戸市を中心とする地域が、古代から日本有数の窯業生産地であったことが大きな要因と考えられます。

美濃も古代から現代まで続く窯業生産地ですが、美濃で生産された焼物も長い間「瀬戸焼」と認識されていました。これは、美濃焼が江戸時代後期まで尾張藩の産物として瀬戸焼と一緒に販売されていたためと考えられます。こうした状況は、1638(寛永15)年に書かれた『毛吹草』に美濃国の名物として「瀬戸焼物」とあることから分かります。

美濃で生産された焼物が「美濃焼」として販売されるようになったのは江戸時代後期以降で、一般に認識されるようになったのは明治時代に入ってからでした。そのため、現在でも瀬戸焼や唐津焼など他の産地の焼物と比べると、「美濃焼」の知名度が低いのではないかと考えられます。



毛吹草(写本)：パネル展示
(画像提供 北海道大学附属図書館)



江戸時代後期から幕末にかけて美濃窯で生産された焼物
(多治見市教育委員会蔵)

プラザイベントガイド

文化プラザ ☎55711



文化プラザ

申し込み受け付け中

ワークショップ・リトミックを楽しもう

期 日 10月21日(日)
時 間 11:00～11:45(10:45開場)
場 所 ルナホール
対 象 3歳～小学3年生
講 師 津嶋麻子さん
(杉並児童合唱団)
定 員 50人(先着順)
参 加 費 500円
持 ち 物 飲み物
申込方法 参加費を添えて申込用紙を文化プラザ事務室に提出ください。
申込期限 10月14日(日)



10月14日(日) 発売開始

穂村 弘 講演会 「言葉の秘密」

期 日 12月2日(日)
時 間 14:30開演
(14:00開場)
場 所 ルナホール
入 場 料 500円
(当日600円)
定 員 200人
※未就学児は入場できません。



【文化プラザ】 窓口販売/9:00～20:30 電話受付/9:00～20:30
※発売日初日の電話受付は正午から。窓口販売で完売の場合、電話受付はありません。

